

令和 2 年度環境保全報告書 ユニタイト株式会社

① 2020 年度の重点取組目標・計画の実施状況

ア. 地球温暖化対策【温室効果ガスの抑制】

CO₂について、燃料、電力の省エネルギー、生産効率改善、加工方法の改善などを通じて、排出量の削減、排出原単位の低減に努めています。当社では、CO₂排出量を『2020年に2002年比原単位で29.5%削減、2019年比で18.2%削減』を目標に取り組みましたが、2020年の実績では、下表に示すとおり、電力のCO₂排出係数が0.000340と小さくなった事などにより、2002年比原単位で26.5%削減でしたが、2019年度比ではコロナ感染症の影響で受注量も低下した事で原単位で3.1%増加となっています。2021年の目標を2002年比原単位で27.3%削減に、2020年比で1%削減を目標に改善を行ってまいります。

工場CO₂排出状況

項目	2002年 (基準年)	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年 (計画)
工場排出原単位 (kg/t)	359	339	338	319	313	256	264	261

イ. 環境負荷低減の推進

都市ガス、電力、総量削減を実施していますが、2020年度はコロナ感染症の影響で受注量の大幅な減少があった事で、都市ガスで基準年比17.2%減りました。電力でも28%減っています。2021年は受注量の拡大を進める計画ですが、生産量では2019年度と同程度に回復の見込みでCO₂排出総量は省エネ対策等で1%削減の計画です。よって、原単位でも削減を図り2020年度比で1%改善を目指します。

低減の具体的な推進方法としては、省エネルギー活動の推進で進めている生産効率の高い設備への更新、製法の熱間鍛造より冷間鍛造化も継続して進めます。

● エネルギー使用量・原単位

項目		2002年 (基準年)	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年 (計画)
都市ガス	原単位 (m ³ /t)	6.23	6.03	6.05	6.13	6.00	5.76	5.21	5.16
電力	原単位 (kwh/t)	600.4	379.7	388.4	356.9	356.9	358.6	432.1	427.8
用水	原単位 (m ³ /t)	0.920	0.568	0.575	0.552	0.552	0.627	0.735	0.620

② 公害防止対策に係る報告

ア. 目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

目 標 項 目		目標達成状況	目標達成のために講じた措置・対策
上汚 対染大 策防気	ばい煙の排出規制の遵守	排出にかかる規制値を全ての測定結果が満たしていた。	◆排ガス処理施設の適正な維持管理に努める。
(公共用水域に排出する場合)			
対 策水 質汚 濁防 止	排出水の水質管理及び汚濁負荷の総量管理	排出にかかる目標値を全ての測定結果が満たしていた。	◆排水処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、「排出水の汚濁状態測定計画」及び「排出水の汚濁負荷量の測定計画」に基づき目標値の遵守状況を確認した。
(特定有害物質(**)を使用していない事)			
土 壌汚 染防 止対 策	土壤汚染の未然防止	事業所で有害物質(ジクロロメタン等)の使用が無い事を確認。	◆購入薬品類に有害物質の使用が無いか監視。

③ 地球温暖化対策に係る報告

ア. 2020年度における電気・燃料等の使用量、温室効果ガス排出量原単位

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量(MJ)	排出係数	排出原単位	温暖化係数	合計(CO ₂ 換算)
					kg-CO ₂ /MJ	Kg-CO ₂ /t	CO ₂	
合計						264		

イ. 当該年度の計画達成状況（排出量原単位・Kg-CO₂/t）

温室効果ガス	削減目標		原単位実績		基準年比削減率（%）	
	今年度(2020年度)	2021年度	基準年度(2022年度)	今年度(2020年度)	今年度(2020年度)	2021年度
合計	264	261	359	264	26.5	27.2

ウ. 目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	事業所等での節電・燃料使用量の削減	節電	休み時間等に消灯	徹底	実施率95%
			省電力電灯へ切替	交換時順次切替	電灯210個LED化
		燃料の節減	バーナー清掃、空気比調整	全バーナー実施	78%実施
2	環境負荷の少ない加工方法の選択	冷間鍛造化	熱間より冷間鍛造への加工方法変更	最低2品目の切り替え	2016年度実績:1品目切り替え済み
3	設備の運転効率の改善	空気圧縮機の圧力調整	圧力を0.6→0.58Mpa	全機調整	全機調整済み
		複数設備の集約化	集中生産に努める	月次で調整	実施率75%
		熱間鍛造素材の加熱温度低減	加熱温度1150~1250→1150~1200に変更	徹底	実施率80%

④ 公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告
2019年度の環境保全活動に係る具体的実施内容

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	事業所等での節水	節水	循環水の活用、漏れを無くす	2002年比原単位で38%減	20%削減
2	事業所等での廃棄物の適正処理・減量	空缶、空瓶、紙等の分別回収	紙類の専用収集ボックスの設置	全職場に設置	実施率100%
		コピー紙の使用削減	両面コピー・記録の電子化の徹底	比率50%以上	比率50%以上
			ミスコピー紙の再利用あり	徹底	概ね実施
		廃棄物発生量の削減	ペーパーレス化の推進	紙使用量を20%削減	10%削減
			生ごみの肥料化	社員食堂の茶殻を植栽の肥料に	実施率100%
			割箸使用の抑制	食堂に塗箸を設置	設置済
納入業者への梱包削減依頼	全納入業者に依頼		工場長名にて協力要請		
3	事業所等での再生製品等の使用	グリーン購入の実施	文房具	100%	実施率80%
			機械器具・備品	新規購入時切替	概ね実施
			サービス	可能な限り実施	—
	再生紙の使用促進	コピー用紙、パンフレット等の再生紙利用	50%以上	実施率55%	
		プリンタトナーカートリッジの再生利用	—	推奨	推奨して実施
		充電電池等の利用	—	推奨	推奨して実施
4	環境負荷の少ない資源、材料、燃料の選択	廃棄の際の環境影響を配慮した材料の選定	処分可能部分の塩素化合物の削減、切削油・潤滑油の塩素添加禁止。	全廃	実施率100%
		梱包用ダンボールの通い箱化	年2件以上	2件(新規受注)	
		フォークリフトの電動化	年2台以上切替	検討中	
5	自動車対策	マイカー通勤の抑制	—	20%	環境教育等で指導
		積載量の適正化	啓発文書の配布	全車両及び搬入車両	適時指導
		アイドリングストップの推進	啓発文書の配布	全車両及び搬入車両	適時指導
		低公害・省エネルギーな自動車への転換	—	車両買替時	2台買替
		グリーン配送の実施	搬入搬出車両	運送業者に協力要請	2社実施中
6	特定フロン等排出抑制	設備更新時に特定フロン非使用設備を導入	—	新規導入時	100%実施
		業務用エアコンの点検	自主点検と業者による定期点検	3か月と3年毎	2015年11月より100%実施
		特定フロン等使用機器廃棄時の適正処理	—	廃棄時	今期廃棄設備無し
7	従業員教育	社員研修	—	半期毎に開催	2回開催(参加人数:延べ55人)
		朝礼等での啓発	—	随時	随時実施
8	地域社会への	事業所周辺の清掃活動	—	2回/年実施	2回/年実施(参加人数:延べ50人)

	参画				
10	環境管理システムの充実	ISO 14001 の取得	—	全製造事業所取得	全製造事業所取得済
		内部監査の実施	—	1回/年	1回/年実施